



平成 21 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社高見沢サイバネティックス
 代表者名 代表取締役社長 高見澤 和夫
 (JASDAQ・コード番号：6424)
 問合せ先 専務取締役 広田 和資
 (TEL. 03-3227-3361)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日付当社「平成21年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 22 年 3 月期 連結業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期累計期間 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,800	△660	△680	△470
今 回 修 正 予 想 (B)	3,200	△630	△645	△495
増 減 額 (B-A)	△600	30	35	△25
増 減 率 (%)	△15.8	—	—	—
(ご参考) 前 年 同 期 実 績	4,285	△322	△346	△265

(2) 通期 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	10,900	140	90	130
今 回 修 正 予 想 (B)	10,420	145	65	100
増 減 額 (B-A)	△480	5	△25	△30
増 減 率 (%)	△4.4	3.6	△27.8	△23.1
(ご参考) 前 年 同 期 実 績	9,953	△178	△245	△1,441

(3) 修正理由

連結業績予想の修正は、個別業績予想の修正に伴うものであります。

2. 平成 22 年 3 月期 個別業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想(A)	2,800	△540	△550	△340
今回修正予想(B)	2,290	△510	△510	△355
増減額(B-A)	△510	30	40	△15
増減率(%)	△18.2	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績	3,364	△206	△223	△138

(2) 修正理由

売上高につきましては、交通システム機器部門が順調に推移したものの、メカトロ機器部門において、新製品への過渡期案件の売上げが減少したこと、また、特機システム機器部門において、企業の設備投資抑制の影響を受けるとともに、防災計測システムの大口案件が第 3 四半期以降へ繰延べになったことにより、22 億 9 千万円（計画は 28 億円）となる見込みです。

損益面につきましては、徹底した経費の圧縮・原価の低減に取り組んだことにより、営業利益は 5 億 1 千万円の損失（同 5 億 4 千万円の損失）、経常利益は 5 億 1 千万円の損失（同 5 億 5 千万円の損失）、四半期純利益は 3 億 5 千 5 百万円の損失（同 3 億 4 千万円の損失）となる見込みです。

(3) 通期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	8,900	130	90	130
今回修正予想(B)	8,500	120	65	105
増減額(B-A)	△400	△10	△25	△25
増減率(%)	△4.5	△7.7	△27.8	△19.2
(ご参考) 前年同期実績	8,101	△105	△150	△1,340

(4) 修正理由

売上高につきましては、これまでの動向や今後も予想される厳しい事業環境等を勘案し、85 億円（計画は 89 億円）となる見込みです。

損益面につきましては、第 3 四半期以降に、新製品の立上げに伴う一時的な生産コストの増加が発生するため、営業利益は 1 億 2 千万円（同 1 億 3 千万円）、経常利益は 6 千 5 百万円（同 9 千万円）、当期純利益は 1 億 5 百万円（同 1 億 3 千万円）となる見込みです。

※ 上記の修正予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上